

## 株Active Garden 楓 環境行動計画

### 取組方針

(株) Active Garden 楓は、当社の経営理念である『信頼・協調・努力』をモットーに、顧客ニーズにあった造園業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減、リサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 29 年 10 月 31 日

株式会社 Active Garden 楓

代表取締役 田中 清茂

### 3. 環境負荷の低減目標

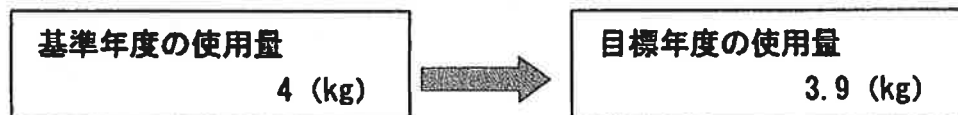
29年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも27年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】廃棄物の適正な管理を行い、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努める。

【目標3】コピー用紙使用量を2%削減する。



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ①昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ②使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ③休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ④カーテン、ブラインドを利用して室内への日射と通風を調節する。

(車両での取組)

- ①エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル他)
- ②給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ③現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。
- ④不要な荷物は積まないようにする。
- ⑤低騒音・低振動型の建設機械を使用する。
- ⑥昼休み・休憩時間には、使用していない機械のエンジンを切る。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ①廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ②シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④紙のリサイクルに努める。
- ⑤アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊を再資源化する。

### 【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ①作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ②社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑤会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)

## 5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、社長（環境保全活動の責任者）を中心に全社員が「環境保全活動に向けた具体的な取組」に取り組むとともに、その進捗状況を年1回チェックします。